## RAPIDWeekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease

## 発行 青森県感染症情報センター(2007年9月7日)

(青森県環境保健センター:担当 微生物部)

TEL 017-736-5411, FAX 017-736-5419

青森県環境保健センターホームページ

青 森 県 境 境 保 健 センターホームページ http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html

## 第 **35 週の発生動向**(2007/8/27~2007/9/2)

*青森県感染症発生情報* 

1. **咽頭結膜熱については**、上十三保健所管内において第 14 週から、むつ保健所管内では第 16 週から、<mark>警報</mark>が 継続しています。

(2007年第35週)

- 2. 手足口病については、上十三保健所管内において第34週から警報が継続しています。
- 3. ヘルパンギーナについては、上十三保健所及びむつ保健所管内において第34週から、東地方+青森市保健所 管内では第27週から警報が継続しています。

第35週五類感染症定点把握注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

<u> </u>			<u>/#_~</u>		کبر ت	: / <del>I</del>	• 4	. 大只 心 /	<b>М</b>	_~~10	J/王 /人	例の言:	TIX /-		C 7010	101		小风	
保健所名	東地方	+青森市	3	ム前	,	ᆁ	五角	川原	Ł	+ =	1	J.	青森	果計	増減数	東地方	方(再掲)	青森市	ī(再掲)
疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	(前週からの増減)	数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ															0				
(72) RSウイルス感染症															0				
(73) 咽 頭 結 膜 熱	8	0.89	1	0.11					2	0.33	2	0.50	13	0.31	2	2	2.00	6	0.75
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.44	13	1.44	2	0.22			3	0.50	11	2.75	33	0.79	9			4	0.50
(75) 感染性胃腸炎	29	3.22	11	1.22	5	0.56	2	0.40	5	0.83	9	2.25	61	1.45	2	14	14.00	15	1.88
(76) 水 痘	3	0.33			1	0.11			3	0.50	3	0.75	10	0.24	-3			3	0.38
(77) 手 足 口 病	17	1.89	11	1.22	9	1.00	17	3.40	39	6.50	6	1.50	99	2.36	18	1	1.00	16	2.00
(78) 伝 染 性 紅 斑	1	0.11			1	0.11			2	0.33	1	0.25	5	0.12	-1			1	0.13
(79) 突 発 性 発しん	4	0.44	5	0.56	5	0.56	1	0.20	6	1.00	5	1.25	26	0.62	-11			4	0.50
(80) 百 目 咳			1	0.11									1	0.02	1				
(81) 風 しん															0				
(82) ヘルパンギーナ	41	4.56	38	4.22	5	0.56	11	2.20	68	11.33	45	11.25	208	4.95	21	14	14.00	27	3.38
(83) 麻しん (成人を除く)															-1				
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.33	4	0.44	3	0.33	1	0.20	4	0.67	1	0.25	16	0.38	-4			3	0.38
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎															-5				
(95) マイコプラズマ肺炎					2	2.00					1	1.00	3	0.50	1				

	定	点数			
保健所名	インフルエンザ(内科 + 小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	
五所川原	7	5	2	1	1 1 1 6
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	15 14 7 9 6 12	9 5 6 4 8	6 2 3 2 4 23	3 2 1 2 1 2	_1
合計	65	42	23	11	6

(19年計:24人)

は警報

は注意報

「空欄」: 患者発生数 0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

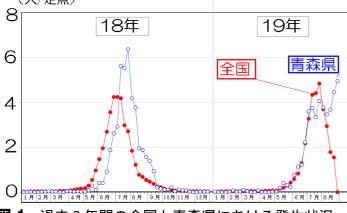
(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前保健所1人

(19年計:107人)

(14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 弘前1人、上十三1人、むつ1人、青森市2人



## ヘルパンギーナ



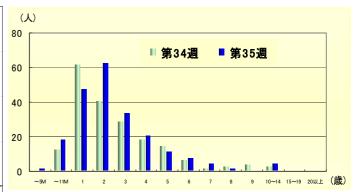


図 1 過去2年間の全国と青森県における発生状況

図 2 年齢別構成(第34週-35週)

本年の青森県における届出数は、7月には全国値を下回る報告数で推移していましたが、8月初旬から急増し、県内3保健所管内で、**警報**が出されています(図1、表 )。保健所管内別では、上十三保健所管内、次いでむつ保健所管内が多い報告数で、弘前保健所管内では警報は出されていませんが、前週に比べ、約2倍に増加しています。好発年齢は4歳以下とされています。本県においても、1歳から2歳にかけて最も多い報告数となっています(図2)。ヘルパンギーナはウイルス性疾患で、飛沫や経口により感染することから、手洗いやうがいの励行が必要です。

関連情報:保健衛生課:こどもの感染症に注意しましょう http://www.5.pref.acmori.lg.jp/aj-hoken/24072/cpub.html